

## 天王寺地区の基礎情報

# 1. 計画の位置づけ

上位計画

## 新・大阪市緑の基本計画(H25.1)

### 基本理念

#### みどりの魅力あふれる大都市・大阪

～だれもが住みたい・働きたい・訪れたいと思う“みどりの都市”へ～

### <保全配慮地区の考え方>

- 風致景観の保全、生態系の保全、市民の自然とのふれあいの場提供の観点等から、今後の地区内における緑地保全施策、保全配慮計画を検討・策定し、実践していく。
- みどりの保全の重要性を明らかにし、意識啓発を図り、市民・事業者・行政が一体となって貴重なみどりの保全につなげていく。

### <保全配慮地区の設定>

- 大阪の個性を特徴づける“みどりの骨格”に位置づけているエリアを中心に、4地区を設定

- ① 夕陽丘・生玉地区
- ② 天王寺地区
- ③ 杭全地区
- ④ 聖天山地区



関連計画

## 大阪のまちづくりグランドデザイン(R4.12)

- まちづくりの基本目標  
「未来社会を支え、新たな価値を創造し続ける、人中心のまちづくり」
- まちづくりの戦略と取組と方向性が示されており、みどりに関連するものとして以下が挙げられている。
  - ・多様な地域資源を活かした魅力あふれる都市空間
  - ・豊かな都市空間を想像するまちづくり
  - ・グリーン社会実現に向けたまちづくり など

## 大阪市生物多様性戦略(R3.3)

- 上町台地を、「生物多様性ホットスポット」と位置づけ。
- 天王寺公園、天王寺保全配慮地区を、「生態系ネットワークの拠点となりうる貴重な自然環境」と位置づけ

## 天王寺区将来ビジョン(R4.4)

- 5項目の将来像のうち、みどり関連では、以下を上げている。
- 歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち

## 大阪市景観計画(R2.10)

- 景観形成の目標
- 都市の風格や活力を高め、まちへの愛着や誇りを育む大阪らしい景観をつくる
- 上町台地景観配慮ゾーンの設定
- 坂・歴史・緑が連なるエリアの特性をいかして、坂の下からの見え方への配慮や、歴史的景観資源や緑との調和に配慮したまちなみ景観の形成を図るゾーン

## 風の道ビジョン(H23.3)

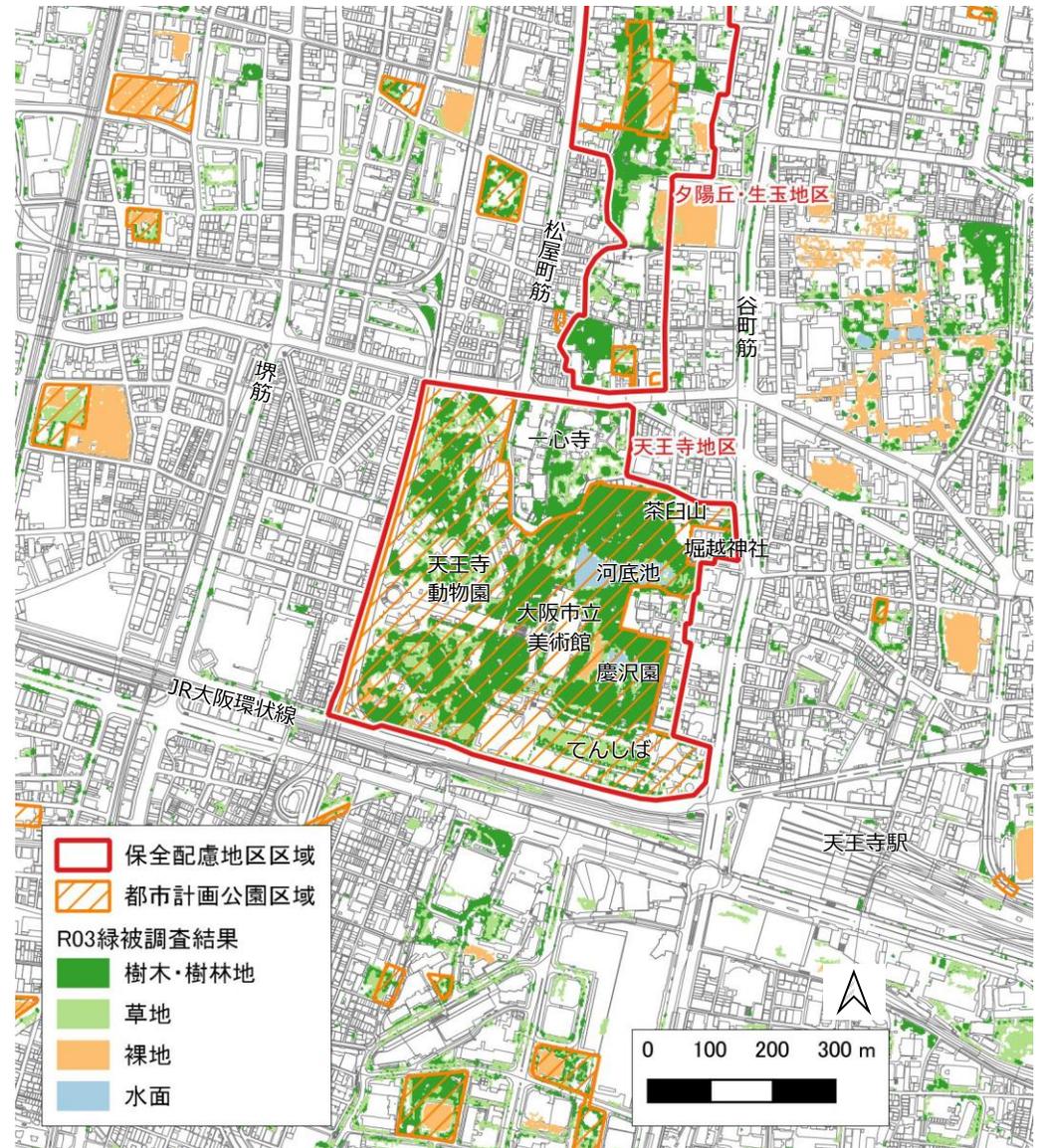
- 将来像
- 水と緑に包まれ心地よい風が流れる環境先進都市 大阪
- 3つの戦略
- 「風通しのよいまちをつくる」、「涼しい『風』を保つ」、「協働と連携を強化する」

上位計画・関連計画を踏まえ、「天王寺保全配慮計画」を今後作成

## 2. 天王寺地区の現況

### (1) 地区の概要

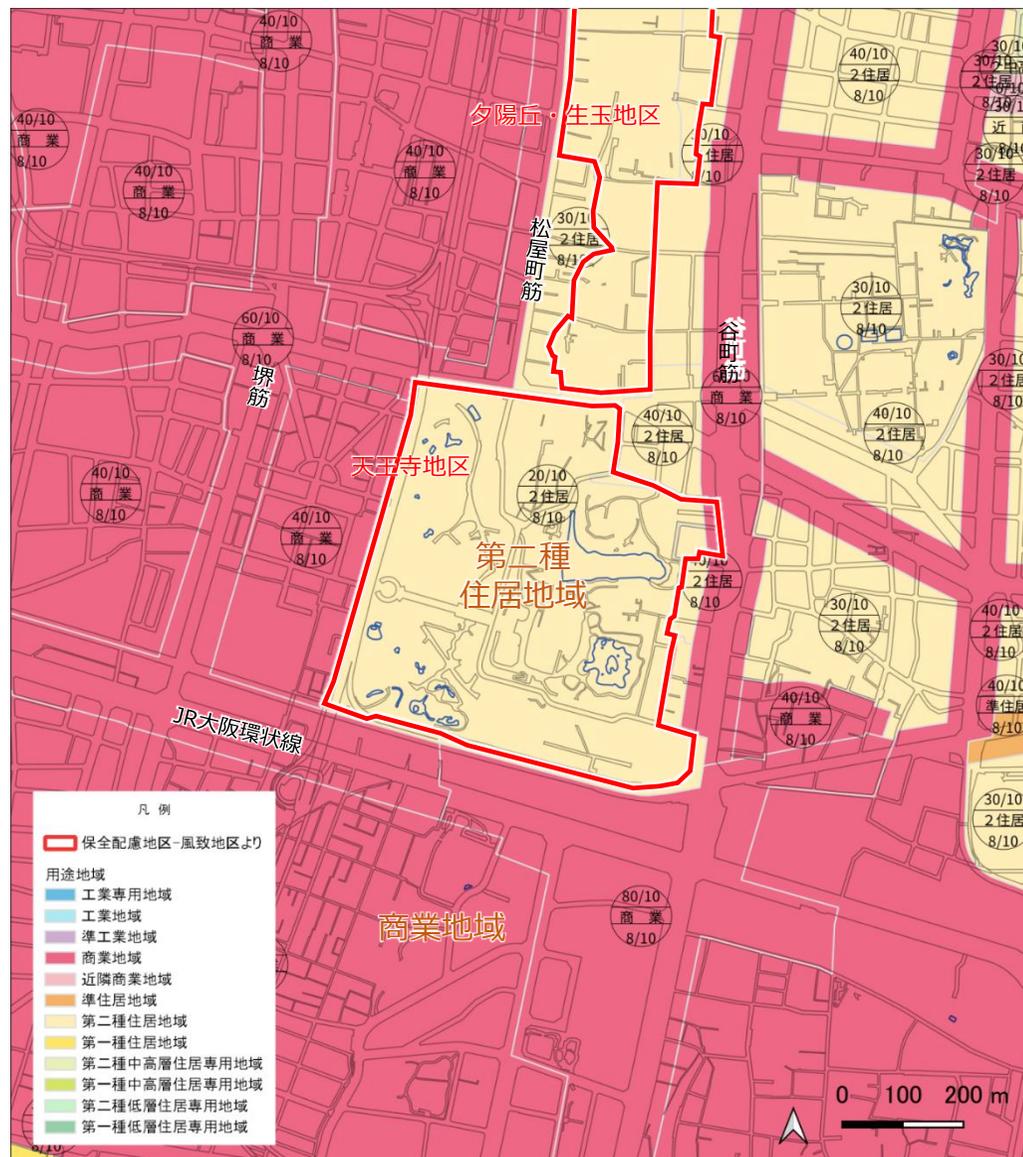
- 地区の大部分を動植物公園である天王寺公園が占めている。地区の北側に一心寺、東側には堀越神社などの寺社がある。全域が天王寺風致地区に指定されている。
- 上町台地の西端部に当たり、地区の中央部を南北に上町台地西側の斜面が走る。斜面の上部は天王寺公園の一般区域や一心寺境内を中心とした区域であり、斜面の下部は天王寺動物園の区域となっている。
- 天王寺公園は、明治42(1909)年に開設された、歴史のある都市公園である。面積は約26.2ha、動物園や庭園、美術館などがあり、大阪市の中心部にありながら緑にあふれた憩いの場となっている。また、天王寺動物園は、大正4(1915)年に開設した長い歴史を持ち、全国でも有数の規模を持つ動物園である。
- 地区内には、大阪市の無形民俗文化財に指定されている「骨仏」の寺として知られる一心寺や、四天王寺七宮の一つである堀越神社などがあり、歴史を感じられる場となっている。



地区概要図

## (2) 用途地域

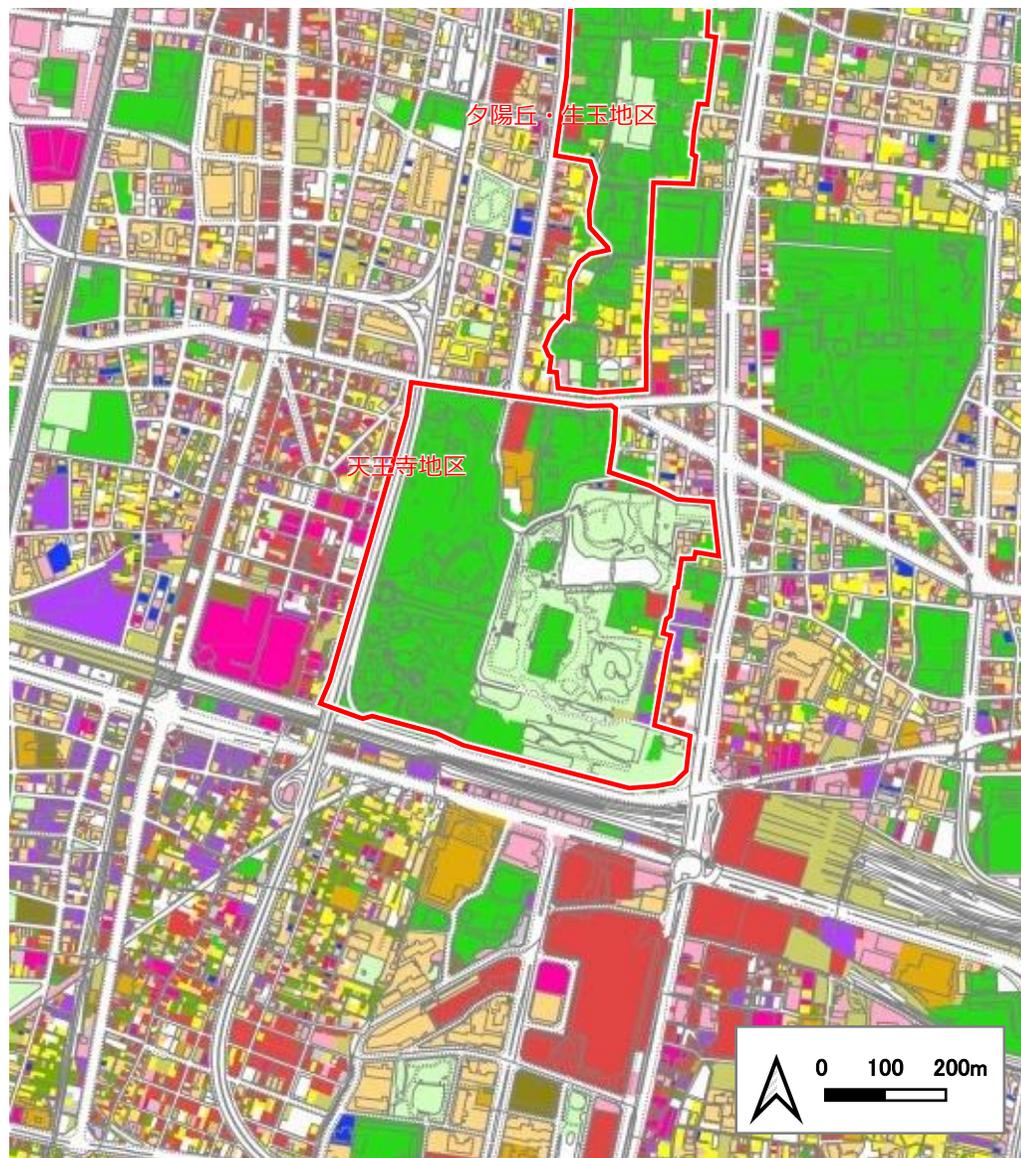
- 地区の大半は第2種住居地域で、東側の谷町筋沿いの一部のみ商業地域に指定されている。
- 地区の周辺は、北側の夕陽丘・生玉保全配慮地区が第2種住居地域、西側の谷町筋沿いの一部のみ商業地域に指定されている。地区の東側は、谷町筋などの主要道路沿いが商業地域で、その他は第2種住居地域である。



用途地域図

### (3) 土地利用

- 地区内の東部が公園緑地で、西部が文教施設である天王寺動物園となっており、地区の北側と東側の一部に一心寺、統国寺、堀越神社などがある。その他には、文教施設である大阪市立美術館や医療・厚生施設である四恩学園(児童養護施設)などがある。
- 地区外では、西側と南側には繁華街やショッピングモールなどの商業施設が多く、宅地や業務施設が混在している。また、地区の北側と東側は、夕陽丘・生玉地区の寺町や四天王寺などがあり、文教施設や宅地が混在した地域となっている。



※マップナビおおさか『令和3年度土地利用現況』に一部追記  
土地利用図

## (4) 公園緑地等

- 地区の大半が天王寺公園(動植物公園)となっている。地区外では、北側に愛染公園、日東公園、西側に恵美公園、南側に金塚ふれあい西公園などがある。
- 周辺の街路樹では、地区東側の長柄筋(谷町筋)のシラカシ等や、地区南側の天王寺公園南通のコブシなどがある。

## (5) 地域制緑地等

- 地区の全域が、茶臼山風致地区に指定されている。
- 堀越神社境内のクスノキ5本、ソメイヨシノ1本、ザクロ1本、計540㎡が保存樹林に指定されている。
- 地区内の幹周200cm以上の樹木として、堀越神社内のクスノキ1本がある。



緑地等の位置図

## (6) 主な施設等

### 1) 学校およびその他の施設

- 地区内の福祉施設として四恩学園(児童養護施設)、博物館・資料館等として大阪市立美術館、慶沢園、長生庵などがある。
- 地区周辺の教育施設として、北側の大阪星光学院中学校・高等学校、南側の大阪公立大学などがある。

凡 例	
	老人福祉施設
	特別養護老人ホーム
	障がい者福祉施設
	その他福祉施設
	保育所
	幼稚園
	小学校
	中学校
	高等学校
	動物園
	美術館



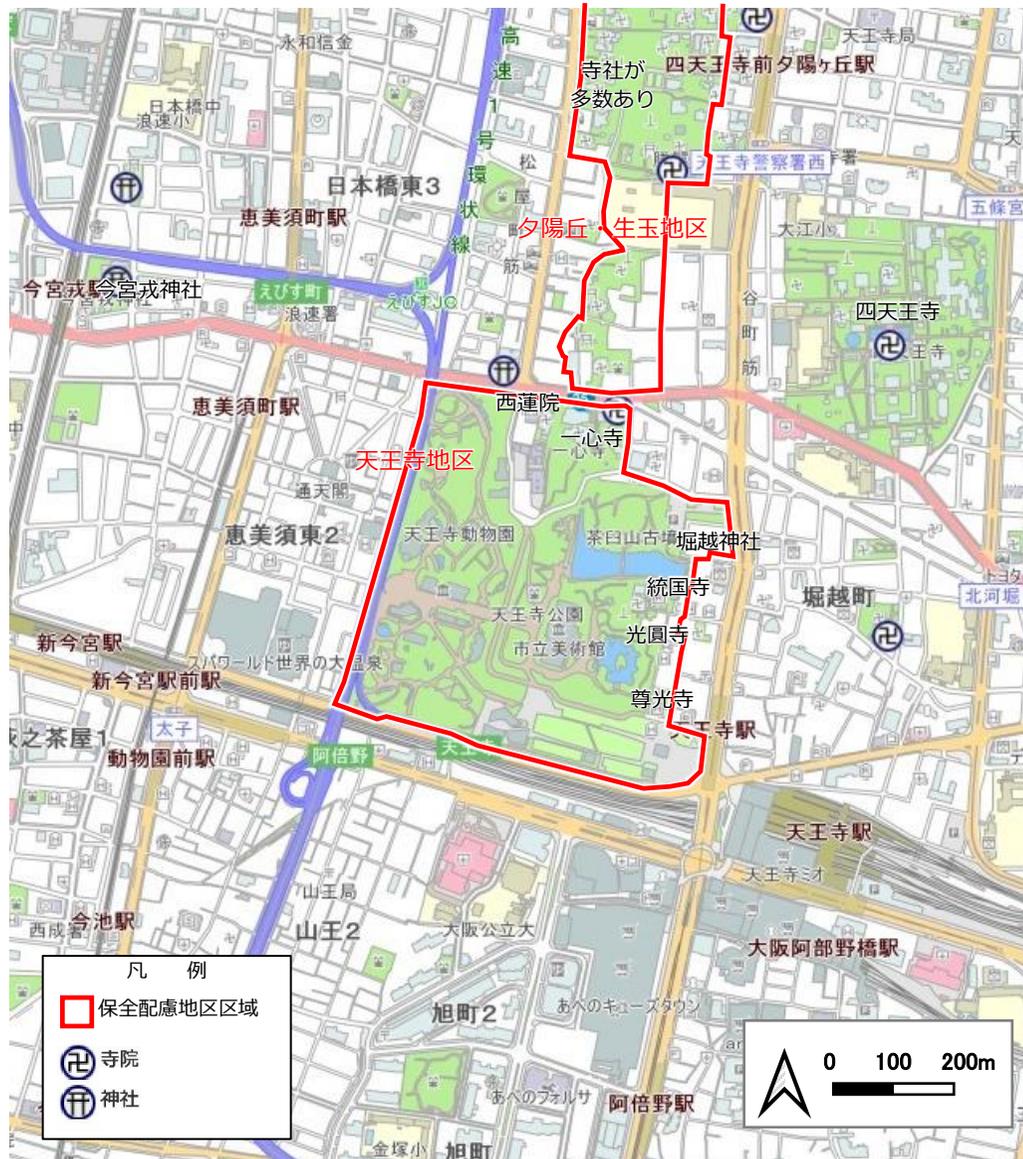
※マップナビおおさか『施設情報マップ』に一部追記

学校・文化施設・福祉施設等位置図

## (6) 主な施設等

### 2) 神社・寺院

- 地区内には、北側に一心寺と西蓮院、東側に堀越神社、統国寺、光圓寺、尊光寺がある。
- 地区外では、北側に夕陽丘・生玉地区の寺町の多くの寺社があり、北東側には四天王寺等がある。また、西側には、「十日戎」で知られる今宮戎神社など、寺社の多い地域となっている。

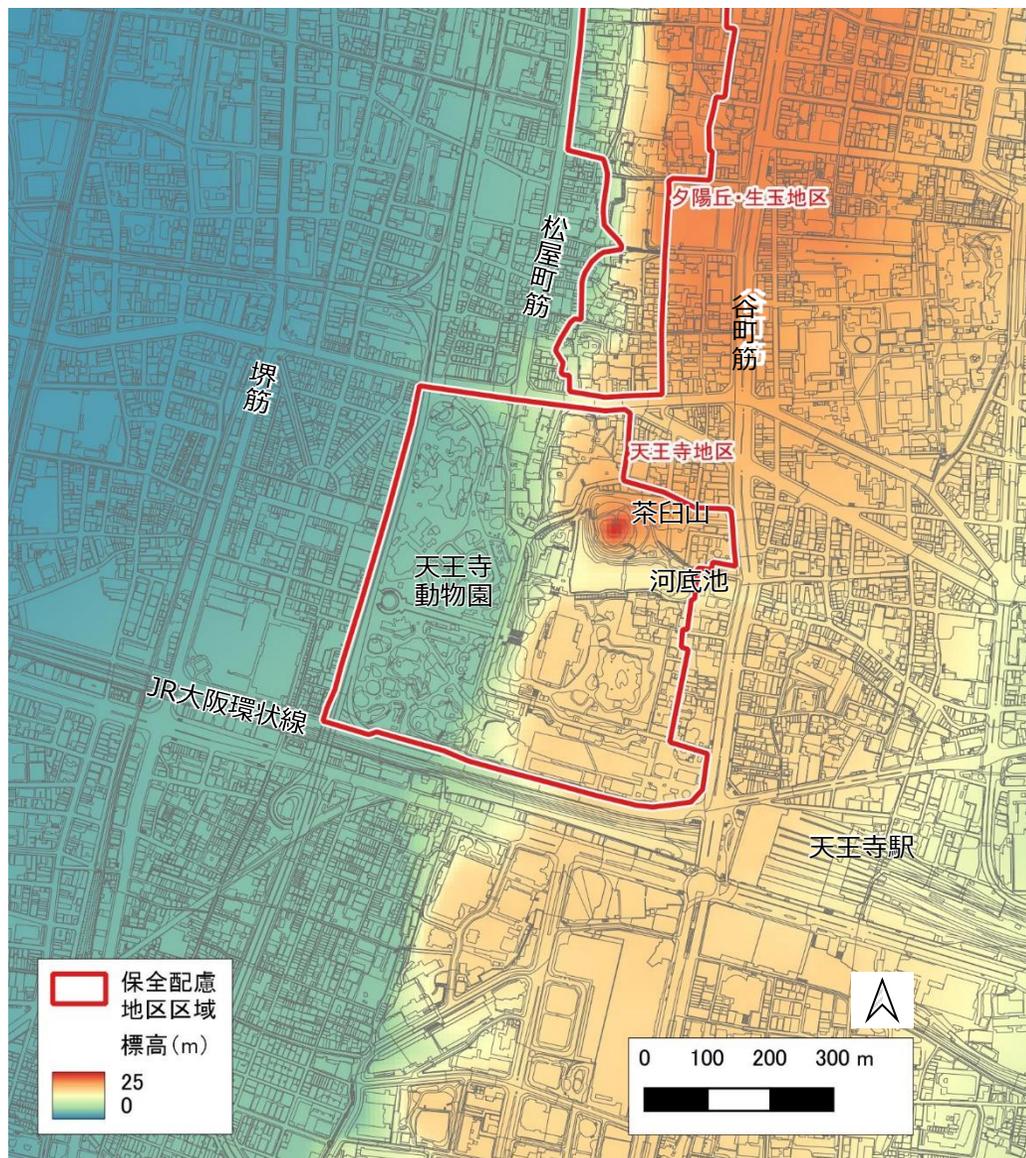


※マップナビおおさか『施設情報マップ』に一部追記  
神社・寺院位置図

## (7) 自然環境

### 1) 地形

- 上町台地の西端部に位置しており、地区の中央部分を南北に、上町台地の西端の急斜面が走っている。
- 斜面の下の区域が天王寺公園内の天王寺動物園の部分となっており、斜面の上の区域には、標高約26mで小高い丘になっている茶臼山や河底池がある。



※数値標高モデル5mメッシュ(基盤地図情報)より作成

地形図

# (7) 自然環境

## 2) 生物の生息状況

- 令和4年(2022)に実施された大阪市域生き物調査では以下の生き物が確認された。

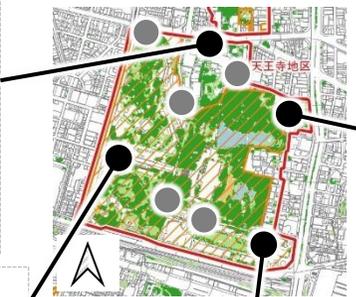
### 一心寺付近No.582

- ・ネコ4
- アカカタバミ2
- アメリカフウロ1
- アレチノギク2,3
- イノモトソウ1
- オニタビラコ2
- オランダミナグサ3
- カタバミsp.2
- カニクサ1
- キュウリグサ2
- ゴウシュウアリタソウ2,3

- コニシキソウ1
- コハコベ2,3
- セイタカアワダチソウ1
- チガヤ2,3
- チチコグサモドキ2
- ツタ2
- ツメクサsp.2,3
- トキワハゼ2
- ノゲシ2
- ノボロギク2
- ノミノツツリ2,3
- ヒメムカシヨモギ1

- ホナガイヌビユ2
- マメカミツレ2
- ユウゲシヨウ2
- ヨウシュヤマゴボウ1

### 〈観察された生き物の記録〉



### 茶臼山No.613

- ・アオサギ2,4
- ・アオスジアゲハ4
- ・アカホシテントウ4
- ・アゲハ4
- ・カルガモ4
- ・カワウ4
- ・クシコメツキの一種4
- ・ゴイサギ2,4
- ・コゲラ4
- ・コシアキトンボ4
- ・コバチ類の一種4
- ・スズメ4

- ・スッポン4
- ・タマカタカイガラムシ2
- ・ツバメ4
- ・ドバト4
- ・トビイロケアリ4
- ・ハグロハバチ2
- ・ハシブトガラス0
- ・ムクドリ0
- ・モンシロチョウ4
- アオカラムシ1
- アカカタバミ2
- アメリカフウロ2,3
- イチゴツナギ2

- イヌビワ1
- ウラジロチチコグサ2,3
- オオアレチノギク1
- オオバコ2,3
- オニタビラコ2
- オヤブジラミ3
- カラクサナズナ1
- キカラスウリ1
- キヌゲチチコグサ3
- キランソウ2
- クサイ3
- クズ1
- コナスビ2

- シロツメクサ2
- スズメノエンドウ1
- スズメノカタビラ3
- セイタカアワダチソウ1
- チチコグサモドキ2,3
- ニワゼキショウ2
- ヒナタイノコヅチ1
- ミノイチゴツナギ3
- ムシクサ2
- メリケントキンソウ2,3
- ヤハズエンドウ1
- ヤブガラシ1
- ヨモギ1

### 美術館付近No.612

- ・エノキワタアブラムシ2,4
- ・オオズアリ4
- ・オオヨコバイ4
- ・カベアナタカラダニ4
- ・カワラヒワ0
- ・キジバト4
- ・キバラリクビボソハムシ4
- ・キムネクマバチ4
- ・ギンメッキゴミグモ2
- ・クロヤマアリ4
- ・スズメ4
- ・タケノホソクバ4
- ・チャタテムシの一種2
- ・ドバト4
- ・ハシブトガラス4
- ・ヒメヒラタアブ属の一種4
- ・ムクドリ4
- ・モンシロチョウ4
- アオキ4
- アカメガシワ4
- アキニレ4
- アメリカフウロ2,3
- アラカシ4
- アレチヌスビトハギ1
- イタドリ1
- イヌガラシ2,3
- イヌタデ1

- イヌビワ1
- イヌムギ3
- ウラジロチチコグサ2,3
- エノキ4
- オカメザサ●1
- オッタチカタバミ2,3
- オニタビラコ2,3
- オヤブジラミ3
- カモジグサ2,3
- キヌゲチチコグサ1
- キュウリグサ2,3
- ギンゴケ1
- クサイチゴ1
- クスノキ4
- コセンダングサ1
- コマツヨイグサ2
- コメツブツメクサ2
- シチヘンゲ2
- スズメノカタビラ2,3
- セイタカアワダチソウ1
- センダン4
- ダイダイゴケ科の一種1
- タチイヌノフグリ2,3
- チチコグサモドキ2,3
- チヂミザサ1
- ツメクサsp.2,3
- ツユクサ2
- トウネズミモチ4

- トキワハゼ2
- ナギナタガヤ2,3
- ノゲシ2,3
- ノハカタカラクサ2
- ハハコグサ2
- ヒナタイノコヅチ1
- ヒメコバンソウ2,3
- ヒメジョオン2
- ヒヨドリジョウゴ1
- ヘクソカズラ1
- ホソバナチチコグサモドキ3
- ホトケノザ3
- マスクサ2
- マツバウンラン2,3
- ミノイチゴツナギ3
- ムクノキ4
- ムラサキカタバミ2
- メリケントキンソウ3
- モジゴケ科の一種1
- モッコク4
- ヤエムグラ3
- ヤブガラシ1
- ヤブラン●1
- ヨモギ1
- レブラゴケsp.1
- 外来タンポポの一種2

### 天王寺公園入口 No.644

- ・アワダチソウグンバイ3,4
- ・オカダングムシ4
- ・キジバト4
- ・クロガケジグモ0
- ・コシアキトンボ4
- ・スズメ0
- ・セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ2,4
- ・セマダラコガネ4
- ・トビイロシワアリ4
- ・ナミテントウ2,3,4
- ・ヒメヒラタアブ属の一種4
- ・ヒロヘリアオイラガ0
- ・ホシハラビロヘリカメムシ4
- ・モンシロチョウ4

- ・ヤマトシジミ4
- アオイゴケ1
- アキニレ4
- アメリカフウロ2,3
- アラカシ4
- アレチヌスビトハギ1
- アレチノギク2
- イヌホズギ2
- イヌムギ2,3
- ウラジロチチコグサ2
- エノキ4
- オオヒカゲミズ3
- オッタチカタバミ2,3
- オニタビラコ2,3
- オヤブジラミ2,3
- オランダミナグサ3

- カニクサ1
- カラクサナズナ2,3
- キュウリグサ2
- クズ1
- クスノキ●1,4
- コニシキソウ2,3
- コマツヨイグサ2
- コメツブツメクサ2
- シロツメクサ2
- スズメノカタビラ2
- セイタカアワダチソウ1
- セイタカハハコグサ3
- センダン4
- ダイダイゴケ科の一種1
- タチイヌノフグリ2
- チチコグサモドキ1

- チヂミザサ2
- ツメクサsp.3
- ツユクサ1
- ツルニチニチソウ1
- ナガミヒナゲシ3
- ナギナタガヤ2,3
- ニワゼキショウ2
- ノゲシ2,3
- ノボロギク2,3
- ハゼラン2
- ヒナキキョウソウ2,3
- ヒナタイノコヅチ1
- ヒメコバンソウ2,3
- ヒメジョオン2
- ヒメムカシヨモギ1
- ヒヨドリジョウゴ1

- ヒルザキツキミソウ2
- ヘクソカズラ1
- ホムムギ2
- ホトケノザ1
- マツバウンラン3
- ムシクサ2
- ムラサキカタバミ2
- ムラサキツユクサ2
- メリケントキンソウ2,3
- ヤハズエンドウ3
- ヤブガラシ1
- ヤブヘビイチゴ3
- ヨモギ2
- 外来タンポポの一種2

【出典：大阪市域生き物調査 天王寺・難波（2022.5月実施）より作成】  
（地区内の主要な調査地点の結果のみを整理）

種名とともに、状態を表す記号を付記。

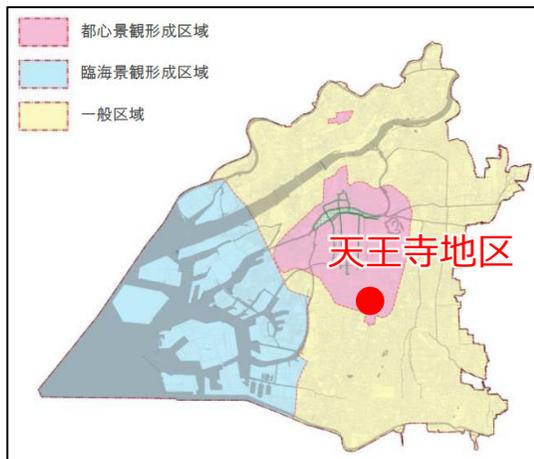
- 1: 葉, 卵, 配偶体 (蘚苔類等)
- 2: 花, 幼虫, 幼鳥, 孢子体未成熟 (蘚苔類)
- 3: 果実, 蛹, 孢子体成熟 (蘚苔類)
- 4: 実生, 成虫, 成鳥, 枯死, 休眠 (蘚苔類)
- 0: 孢子, 無性芽 (蘚苔類), その他

※植栽樹木は位置の目安として、または花や果実がついている場合のみ記録

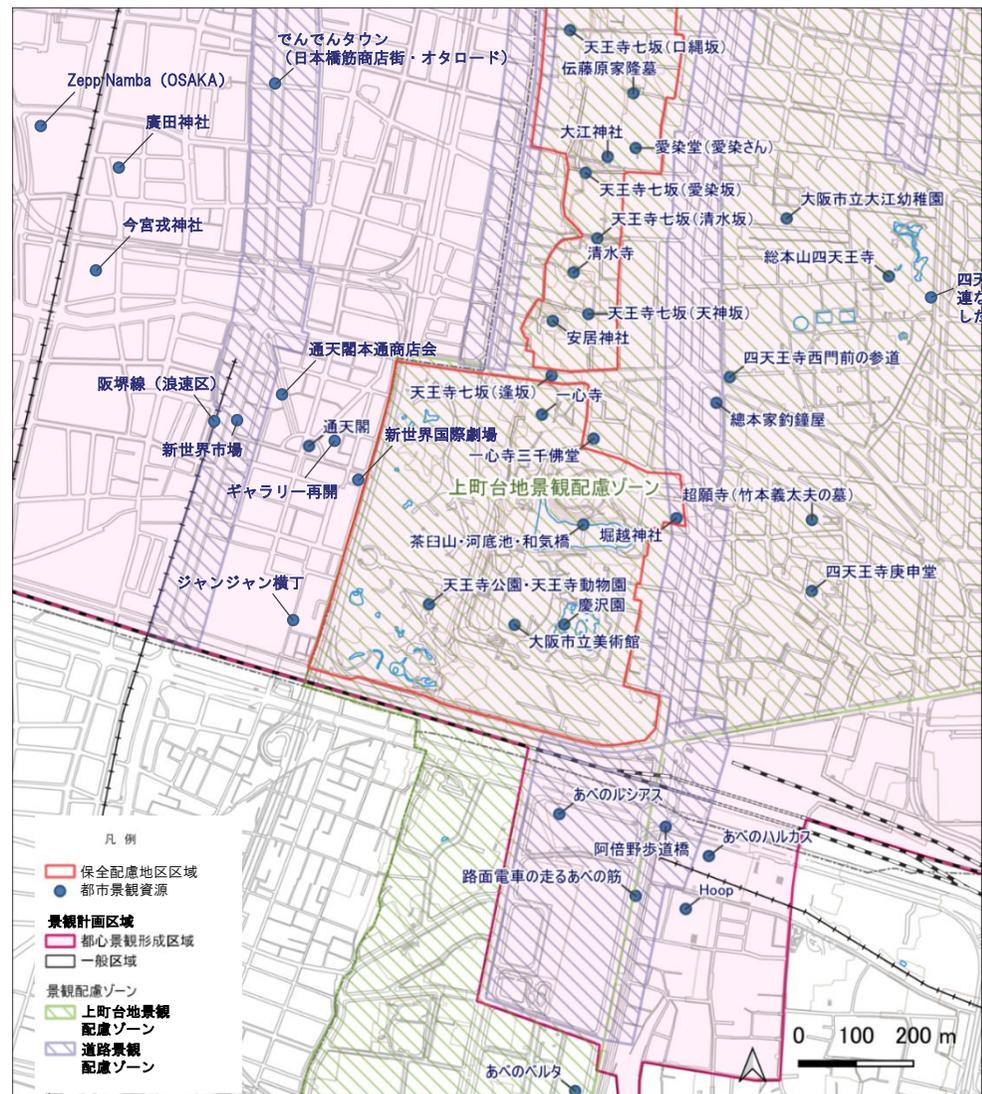
- 「・」: 動物
- 「●」: 植栽, 逸出と思われる植物
- 「◎」: 親木に近い実生
- 「★」: 特定外来生物

## (8) 景観計画

- 地区の全域が、「大阪市景観計画」における基本届出区域のうち、都心景観形成区域に含まれている。
- 東側の一部が「道路景観配慮ゾーン」に指定されているほかは、「上町台地景観配慮ゾーン」に指定されている。
- 都市景観資源としては、一心寺および一心寺三千佛堂、堀越神社、茶臼山・河底池・和気橋、天王寺公園・天王寺動物園、慶沢園、大阪市立美術館が指定されている。



【大阪市景観計画における景観計画区域】



景観計画に係る区域設定および都市景観資源位置図

### 【上町台地景観配慮ゾーンの方針】

- 坂・歴史・緑が連なるエリアの特性をいかした景観の形成
- ・ 坂の下からの建築物の見え方への配慮
- ・ 歴史的景観資源の保全・活用、これらの資源との調和に配慮したまちなみの形成
- ・ 緑の保全、緑との調和に配慮したまちなみ景観の形成

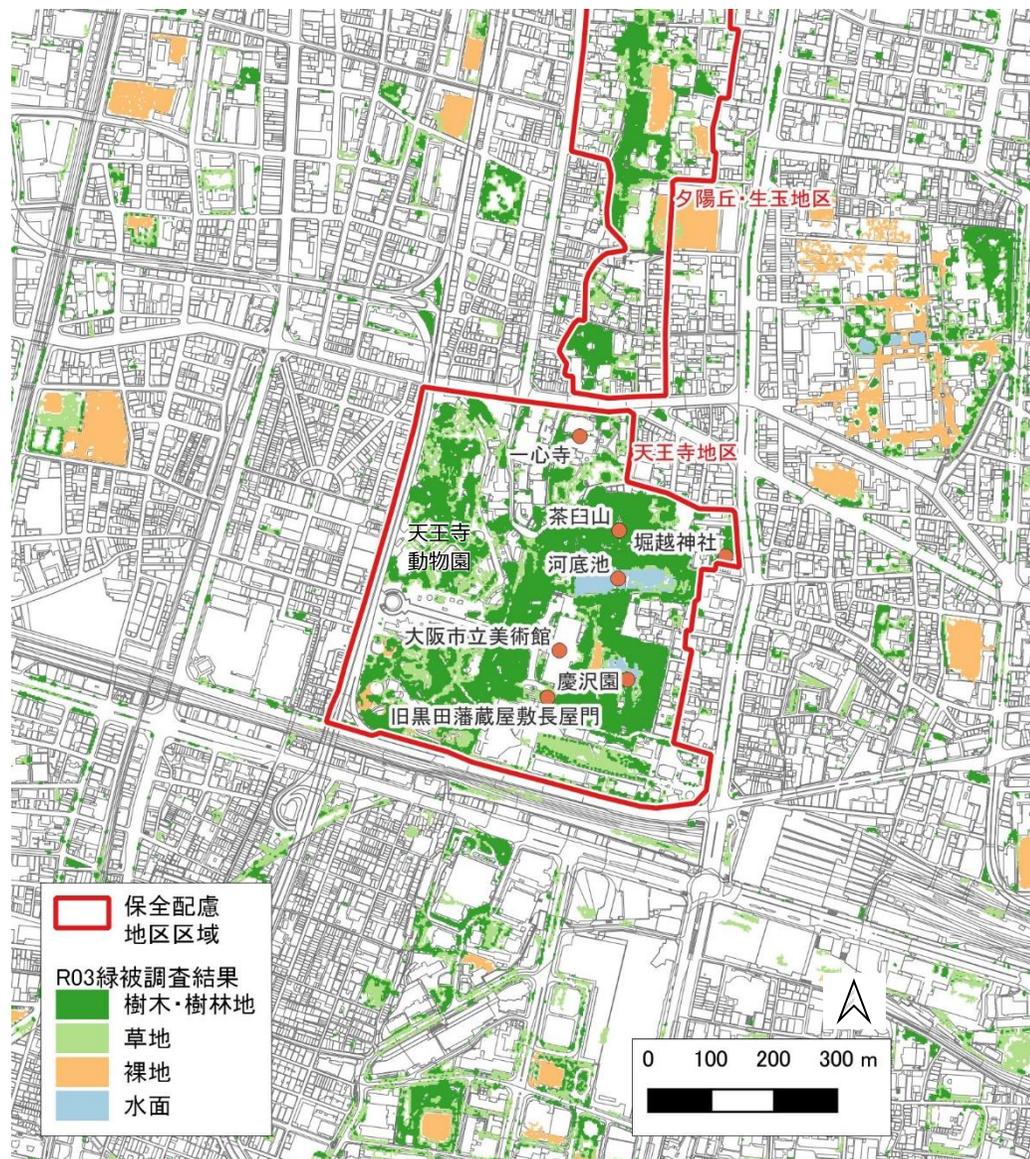
### 【道路景観配慮ゾーンの方針】

- 歩いて楽しいにぎわいを感じるまちなみ景観の形成
- ・ 建築物の連続性や前面道路と建築物との調和に配慮したまちなみの形成、歩いて楽しいにぎわいのあるまちなみ景観の形成
- ・ 建築物と屋外広告物とが調和した、沿道のまちなみ景観の形成

## (9) 歴史文化

### 1) 地区の歴史

- 地区の大半を占める天王寺公園は、明治36(1903)年に第5回内国勸業博覧会が開催された跡地の東側を公園として整備し、明治42(1909)年に開園したもので、大阪市でも歴史のある公園の一つである。なお、博覧会跡地の西側が、新世界として開発された。
- 茶臼山一带には、江戸期からの大阪の豪商・住友家の本邸があったが、大阪市立美術館の建設用地として、住友家の庭園・慶沢園とともに大正11(1922)年に大阪市に寄付され、天王寺公園の一部となった。また、昭和11(1936)年には、大阪市立美術館が開館している。
- 天王寺公園の西側を占める天王寺動物園は、大正4(1915)年に開園した、日本でも3番目に長い歴史を持つ動物園である。
- 地区の北側にある一心寺は、文治元(1185)年に天台座主・慈円が草庵をつくったことが始まりとされる古い歴史のある寺院である。
- 地区東側の堀越神社は、聖徳太子が四天王寺を建立した際につくった四天王寺七宮の一つであり、非常に歴史のある神社である。

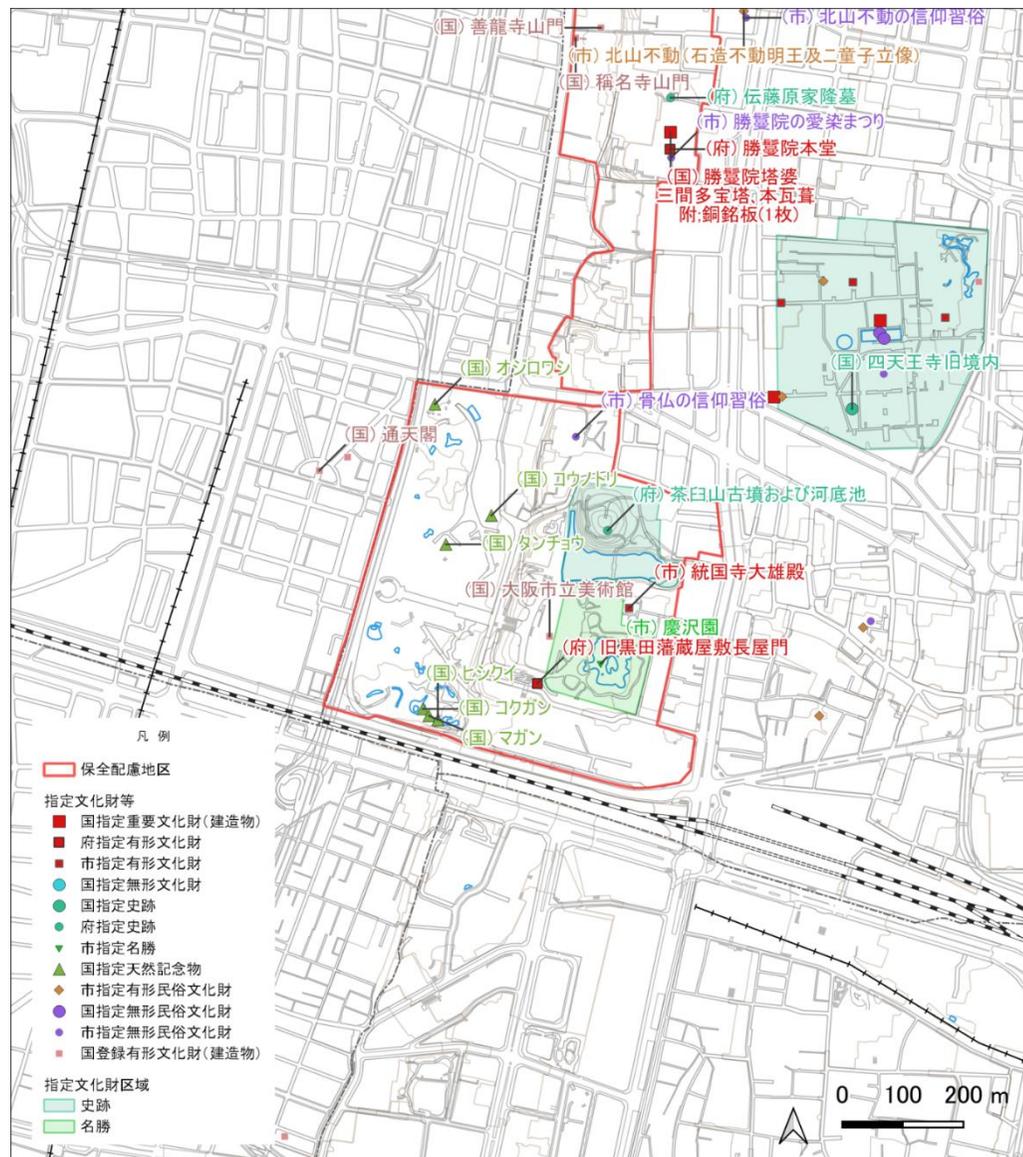


主な歴史文化資源位置図

## (9) 歴史文化

### 2) 文化財

- 地区内の文化財では、国の登録有形文化財として大阪市立美術館がある。国指定の天然記念物として、天王寺動物園内で飼育されているオジロワシ、コウノトリ、タンチョウ、ヒシクイ、コクガン、マガンがいる。
- 府指定の有形文化財として旧黒田藩蔵屋敷長屋門、府指定の史跡として茶臼山古墳および河底池がある。
- 市指定では、有形文化財の統国寺大雄殿、名勝の慶沢園、無形民俗文化財の骨仏の信仰習俗がある。



指定文化財等位置図

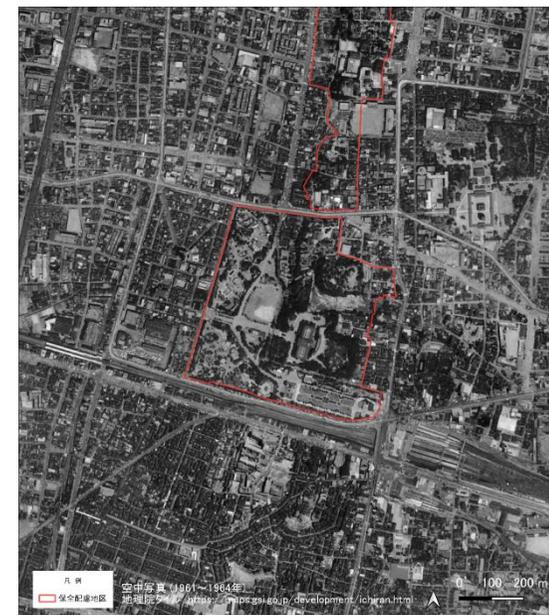
## (9) 歴史文化

### 3) 土地利用の変遷

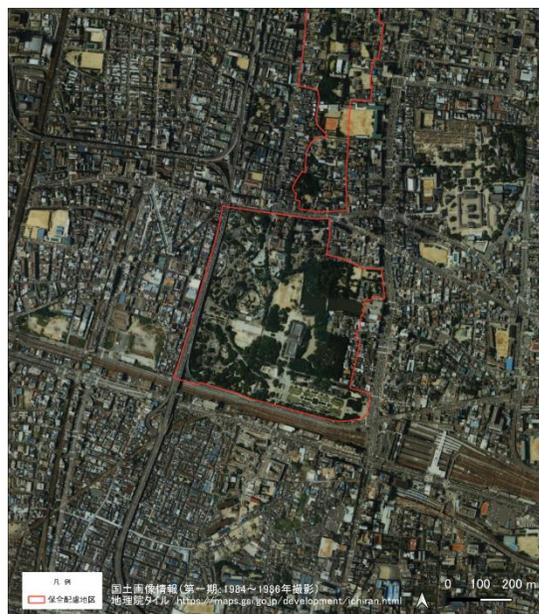
- 1942年から2023年までの航空写真を右に示した。
- 周辺のまちなみは変化しているが、天王寺公園内の状況は大きく変化しておらず、樹林地も良く残っていることが分かる。



1942年(国土地理院撮影)



1961~1964年(国土地理院撮影)



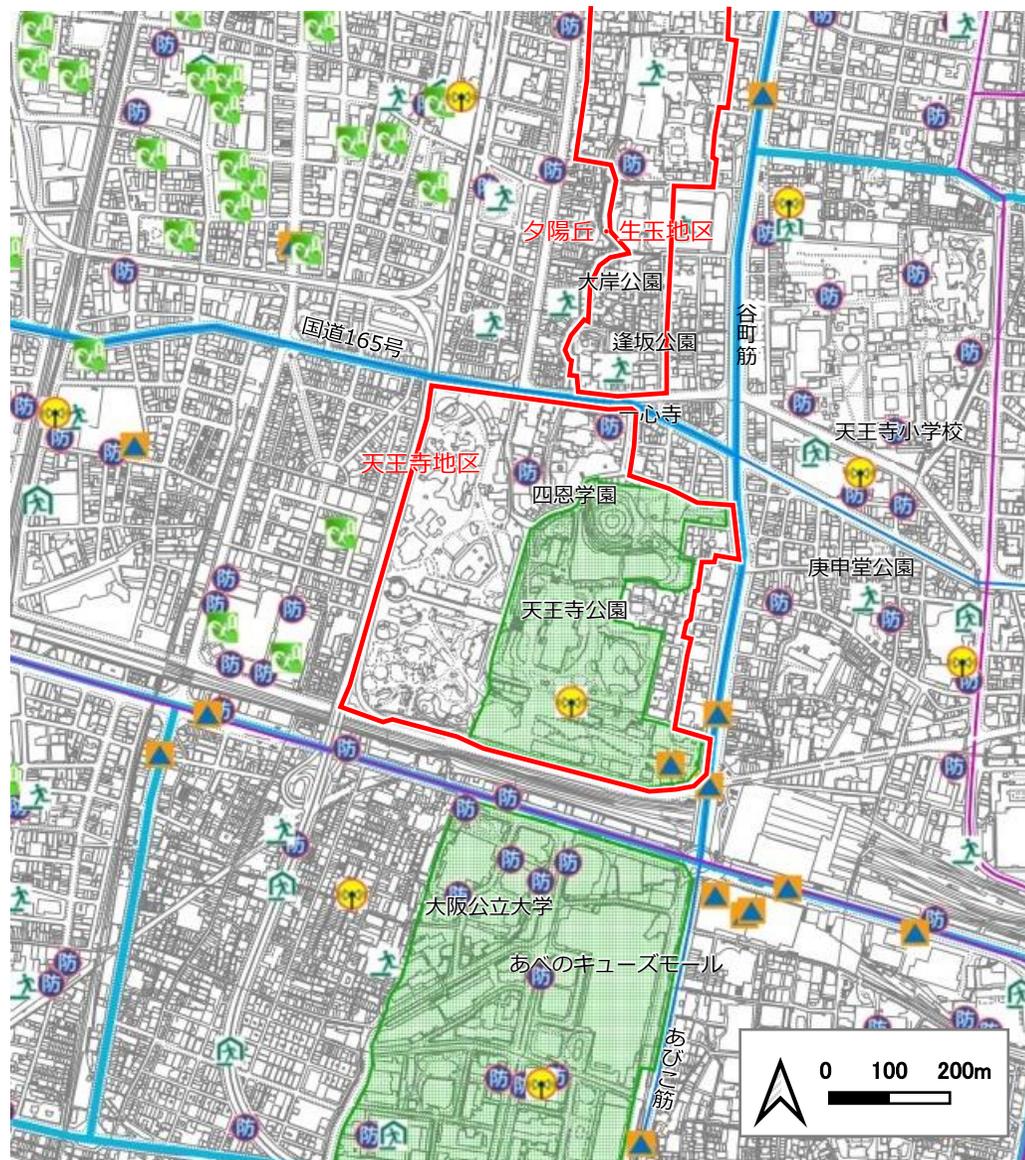
1984~1986年(国土地理院撮影)



2023年(マップナビおおさか)

## (10) 地域防災計画

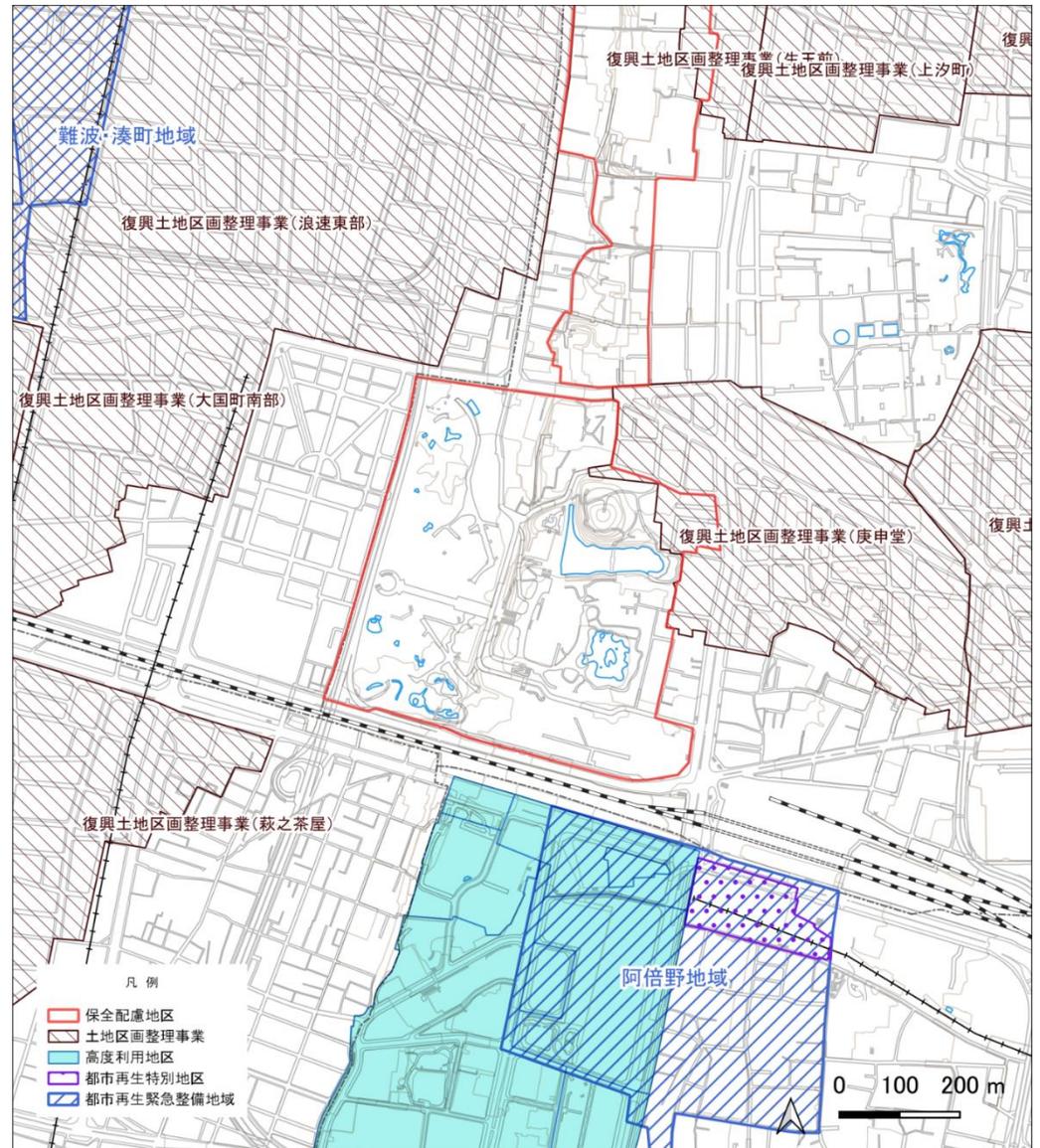
- 地区内では、天王寺動物園を除く天王寺公園の東側が、大阪市地域防災計画における広域避難場所に指定されている。また、一心寺境内と四恩学園に防火水槽がある。
- 地区外では、地区南側の大阪公立大学やあべのキューズモールなどがある一帯が広域避難場所に指定されているほか、公園や小学校などが、一時避難場所や災害時避難所に指定されている。
- 地区の北側の国道165号や東側の谷町筋が緊急交通路(重点14路線)および避難路に、地区南側のあびこ筋が緊急交通路(重点14路線以外)および避難路に指定されている。



※マップナビおおさか『防災関連施設』に一部追記  
 地域防災計画における避難場所・避難所、緊急交通路等

## (11) 開発状況

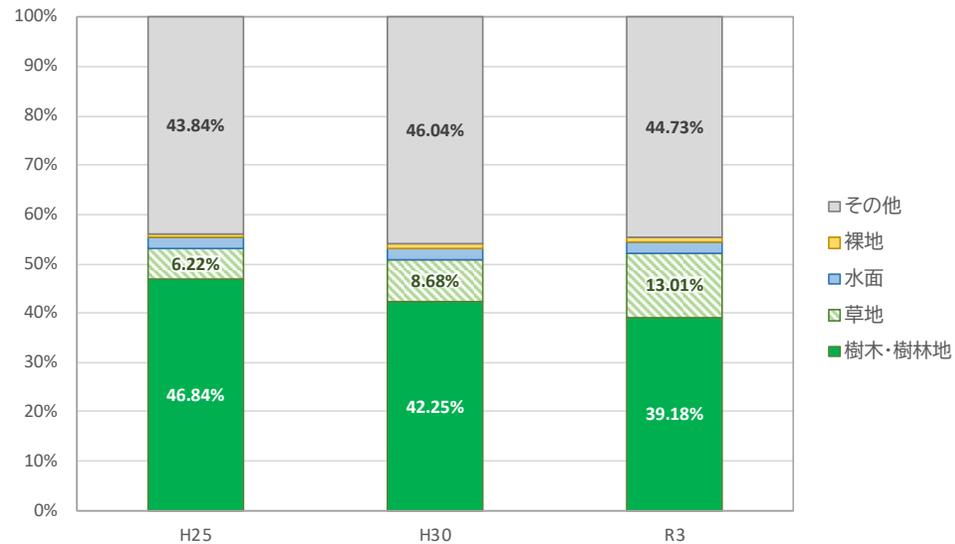
- 地区内および周辺地域の土地区画整理事業等の状況は下図のとおりで、現在、事業中の区画整理等はない。
- 地区の西側および南側に都市再生緊急整備地域の「難波・湊町地域」と「阿倍野地域」とがある。



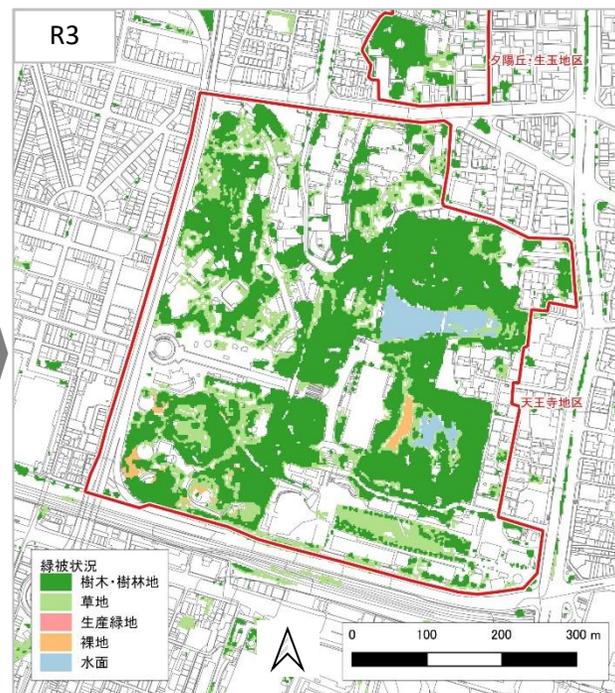
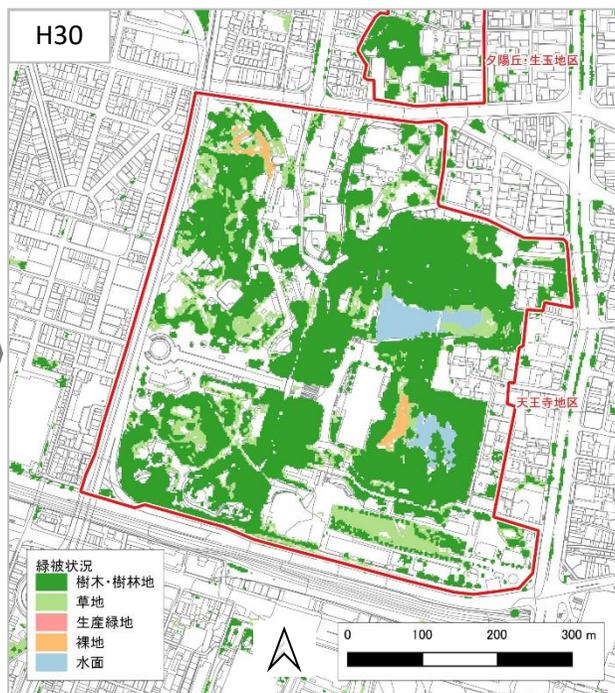
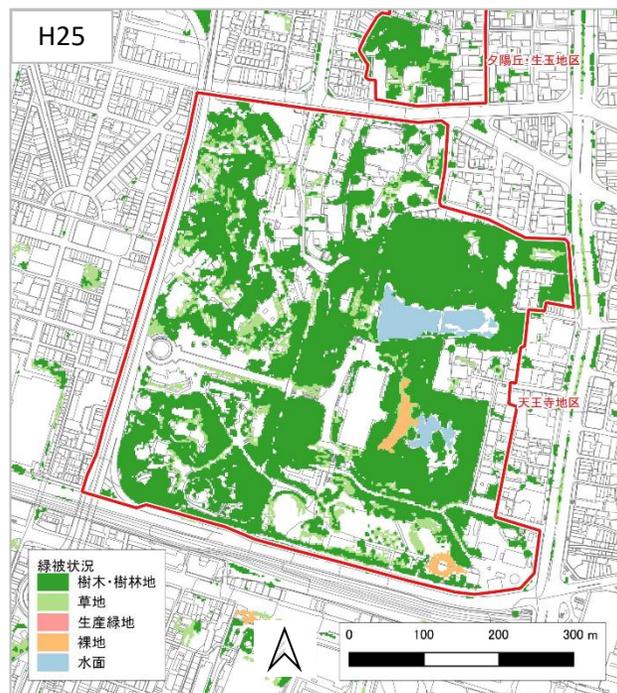
土地区画整理事業等位置図

## (12) 緑被の状況

- 天王寺公園北東部の茶臼山および南東部の慶沢園周辺を中心に天王寺公園の全域にわたって緑が分布している。
- 地区内の緑被率(樹木・樹林地、草地)は 概ね50%程度で推移している。内訳を見ると、樹木・樹林地の面積が減少し、草地の面積が増加している。



緑被の状況



### 3. 現地調査結果

#### (1) 一心寺・茶臼山・慶沢園



##### 〈一心寺〉

- 境内に多くの樹木があり豊かなみどりを感じられる。
- 逢坂側からも境内のみどりを見ることができる。



##### 〈茶臼山〉

- エントランス部分が広場となっており、ベンチで休憩する利用者が多くみられる。
- 茶臼山内は園路が整備されており、気軽に散策できる。



##### 〈堀越神社〉

- 境内に豊かなみどりが見られる。



##### 〈慶沢園〉

- 庭園の樹木が大きく成長し、てんしば側からも見ることができる。

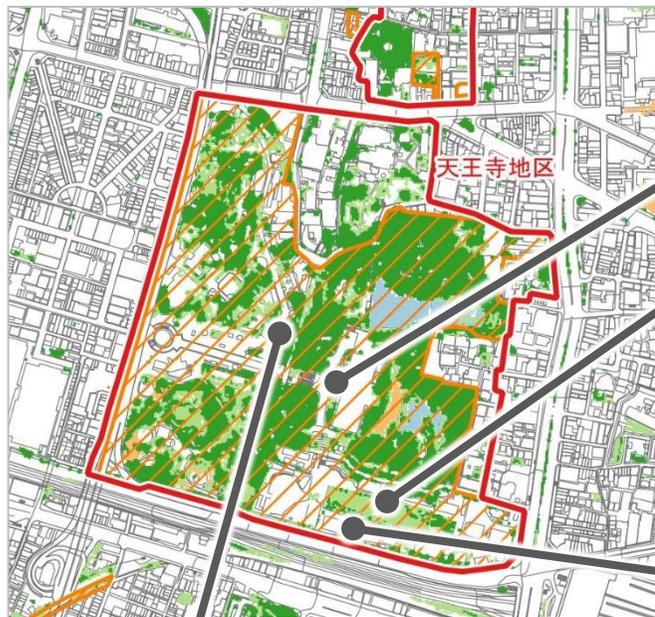


##### 〈河底池〉

- まちなかの貴重な水辺空間であり、水辺を身近に感じることができる。



## (2) てんしば、天王寺動物園周辺



### 〈市立美術館〉

- 改修工事のため休館中  
(R7年春まで)



### 〈てんしば周辺〉

- 芝生スペースが多くの利用者で賑わっている。
- 広場周辺には商業施設が複数みられ、飲食等を楽しむことができる。



### 〈天王寺公園東側〉

- 斜面上に豊かな樹木が残り、ボリュームのあるみどりを感ずることができる。



### 〈フットサルコート〉

